

行き活きトーク

誰もが住みやすい社会(亀岡市)

クローズアップ



▲盲導犬の訓練などを体験

現場訪問

盲導犬と暮らす方や支援に携わる方、プレコンセプションケア※の普及啓発に取り組み方々と各地で「行き活きトーク」

西脇知事が府内の皆さんと語り合い、頂いたご意見を府政に活かす「行き活きトーク」。7月1日には、公益財団法人関西盲導犬協会を訪れ、盲導犬の訓練などを体験した後、ユーザーの方や指導員、受け入れに向けた体制整備に取り組み医療機関の方と、誰もが住みやすい社会づくりの現状と課題について意見を交換しました。

参加者の声

トークを終えて…

盲導犬訓練や弱視の見え方などの体験を通して、視覚障害の方の不安を肌で感じ、正しい理解につなげる情報発信の重要性を改めて実感しました。また、公共施設のバリアフリー化や相談体制の強化、障害者雇用のバックアップなどにも引き続き取り組んでまいります。

- 盲導犬ユーザーになって、目が見えないことを忘れて気軽に、自由に歩けるようになった。最近は、町中でも声を掛けてくれる人が増えてきたことを心強く感じている。さらに理解が広がって、障害の有無に関係なく、当たり前前の方が当たり前前のできる社会になればうれしい。
■ 盲導犬の育成や、アフターケアを含めたユーザーへのフォローのほか、学校や企業などで講演も行っている。正しい認識が広がることで、ユーザーの方々が気軽に利用できるお店などがもっと増えれば。
■ 盲導犬ユーザーの方をはじめ、障害のある方々も安心して医療を受けられるよう、スタッフの教育や他の患者さんのアレルギーなどへの配慮を含めた環境整備を進めている。すべての人が安心して医療を受けられる病院を目指したい。



▲赤ちゃん人形抱っこ体験など、プレコンセプションケアに関するさまざまなブースが展覧



8月24日には、イオンモール京都五条で開催した「きょうとプレコン」啓発イベントに参加。大学生によるトークセッションや出展ブースを見学した後、プレコンセプションケア※の普及・推進に取り組む医療従事者や大学生の皆さんと、その現状や今後の展望について語り合いました。

参加者の声

トークを終えて…

幼児期から社会人に至るまで、切れ目のないプレコンセプションケアを推進する京都府独自の取り組み「京都プレコン」が、若者の健康を応援するメッセージになっていることを改めて実感しました。

市町村や教育機関と連携し、女性のみならず男性にも取り組みが広がっていくよう努めてまいります。



※プレコンセプションケアとは…男女共に性や妊娠に関する科学的な知識を身に付け、栄養管理を含めた健康管理を促す取り組みのこと

- 府内の高校で出前講座などを実施する中で、性と健康に対する正しい知識を伝える重要性を痛感している。女性だけでなく男性にもプレコンセプションケアの概念が普及すれば、さらに住みやすい社会になると思う。
■ “一人ひとりの健康な生き方を社会が応援している”という雰囲気醸成することも重要。性や健康に関する悩みを気軽に相談できる場づくりを進めたい。
■ 月に一度「学生・若者night」という講座を開いている。妊娠や出産、性に関する科学的な知識を若年層に普及することで、幼い頃から知っている身近な話題になれば。
■ 自分の健康のために10代からでも始められることはたくさんある。一方で、SNSなどには誤った情報も多いため、教育の中で「プレコン」について学べる機会が増えれば。



行き活きトーク

未来の自分のために今できること(右京区)

